

渋谷ファッション＆アート専門学校				
開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2026年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	構成研究	実習	永井俊一 武井好之 工藤里紗 木村繁之	
授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。 それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。			
授業の内容	期間:4/27～6/11 AM・PM 計44コマ(6単位) 想起する言葉の列挙、コンセプトを明確にしてゆくため構成、文章化、ラフスケッチ等。			
週	授業計画 及び 学習の内容			
3	各自のテーマに基づいた制作・ラフスケッチ			
4	〃			
5	〃			
6	〃			
7	〃			
8	〃			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
別紙参照				
授業持ち物		学校で準備する教材など		
・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カレーパステル又はコンテパステル)・ 水性絵具(水彩・アクリル絵具)など ・その他、コースごとに指示				
配付資料				

渋谷ファッション＆アート専門学校				
開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2026年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	デッサン研究	実習	永井俊一 武井好之 工藤里紗 木村繁之	
授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。 それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。			
授業の内容	期間:4/13～4/23 AM・PM 計16コマ(2単位) 各自のテーマを探求するとともに、 定期的に、人体クロッキー・デッサンを行い、基本の修復や自身の基準点を確認する。			
週	授業計画 及び 学習の内容			
1	各自のテーマに基づいた制作、人体クロッキー・デッサン			
2	〃			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
別紙参照				
授業持ち物		学校で準備する教材など		
・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カレーパステル又はコンテパステル)・ 水性絵具(水彩・アクリル絵具)など ・その他、コースごとに指示				
配付資料				

渋谷ファッション＆アート専門学校				
開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2026年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	表現研究演習	演習	永井俊一 武井好之 工藤里紗 木村繁之

授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。 それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。
----------------------	--

授業の内容	期間:6/15～7/9 AM・PM 計32コマ(8単位) ラフスケッチからの絞り込み、練り上げ。それに伴い資料収集、必要ならば取材。 エスキース制作。
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
9	各自のテーマに基づいた制作、取材
10	〃
11	〃
12	〃
.	

成績評価の方法	
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況	

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
別紙参照	

授業持ち物	学校で準備する教材など
・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カレーパステル又はコンテパステル)・ 水性絵具(水彩・アクリル絵具)など ・その他、コースごとに指示	

配付資料	

渋谷ファッション＆アート専門学校				
開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2026年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	研究制作	実習	永井俊一 武井好之 工藤里紗 木村繁之	
授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。 それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。			
授業の内容	期間:7/13～11/5 AM・PM 計64コマ(10単位) 可能な限り原寸大エスキースを制作。 下地づくり、画材研究。			
週	授業計画 及び 学習の内容			
13	各自のテーマに基づいた制作、修了制作に向けた原寸大エスキース制作			
14	〃			
15	〃			
16	〃			
17	〃			
18	〃			
19	〃			
20	〃			
21	〃			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
別紙参照				
授業持ち物		学校で準備する教材など		
・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カラーパステル又はコンテパステル)・ 水性絵具(水彩・アクリル絵具)など ・その他、コースごとに指示				
配付資料				

渋谷ファッション & アート専門学校				
開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	表現研究科	絵画・日本画・彫刻・版画	2026年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	
必修	修了制作	実習	永井俊一 武井好之 工藤里紗 木村繁之	
授業の到達目標 (目標とする検定)	表現研究科は、単発的ではない長期に渡るテーマを持つことが大事である。 それによってイメージが成長し、オリジナル性が高まることを目標とする。			
授業の内容	期間:11/9～2/10 AM・PM 計82コマ(12単位) 制作を進めながらエスキースとのギャップを修正してゆく。 中間講評、仕上、修了制作展開催と講評。 作品の完成度、目標の達成度、至らなかったところ、今後の課題を精査。			
週	授業計画 及び 学習の内容			
22	修了制作			
23	〃			
24	〃			
25	〃			
26	〃			
27	〃			
28	〃			
29	中間講評			
30	修了制作(中間講評を受けての修正)			
31	〃			
32	〃			
成績評価の方法				
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況				
教員の実務経験(企業や団体での実務経験)				
授業持ち物		学校で準備する教材など		
・ドローイング用具 クロッキー帳・鉛筆・カラーコンテ(カラーパステル又はコンテパステル)・ 水性絵具(水彩・アクリル絵具)など ・その他、コースごとに指示				
配付資料				